

## スポーツ推進計画 事業状況を調査

八戸市が協議会

八戸市は24日、市スポーツ推進計画（2019～28年度）の事業状況を調査、審議する「市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を発足させた。委員の意見を今後の施策立案の参考にするほか、必要に応じて計画の見直しを検討する。同日は市庁で初会合が開かれ、委員が計画の基本目標やそれに基づく施策の進捗状況を確認した。協議会の設立は熊谷雄一市長の政策公約の一つ。委員は大学、スポーツ団体、商工団体の関係者10人で構成し、会長には八戸学院大

の木村浩哉教授が就いた。

18年度に策定した推進計画は▽誰でも楽しめる「生涯スポーツ」とアスリート育成に向けた「競技スポーツ」の一体的な推進▽「スポーツ」と「まちづくり」が連携した新たな産業の創造による地域活性化―など三つを基本目標に掲げる。

初会合のあいさつで、熊谷市長は「来年度で計画期間の折り返しを迎える。スポーツを取り巻く環境の変化などを踏まえ、来年度には計画の見直しに向けた検討が必要になると考える」と述べた。その後、委員は地域スポーツの現状などに関して意見を申し合った。委員の委嘱期間は2年。会合は原則として年度内に1回の開催で、本年度はこれで終了となる。

（松原一茂）